



Joyful Naturalist



Joyful Naturalist は「鶴見川源流ネットワーク」の通信から「特定非営利活動法人 鶴見川源流ネットワーク」の情報誌に生まれ変わりました。

Contents

Topics * 新春恒例「新春富士見ウォーク2007」
* いるか丘陵とことん巡り・鶴見川源流編
* 小山田緑地・協働田んぼ 収穫祭

NPO法人鶴見川源流ネットワークプロジェクト活動
NPO法人鶴見川源流ネットワークとして推進しているプロジェクト活動の紹介です。

鶴見川源流ネットワーク参加団体活動

鶴見川源流ネットワークとして連携している諸団体から依頼されて広報するページです。

11月、12月の活動報告

1月、2月の活動予定

No.155

2007年・3つの展開



快晴・元旦の北部丘陵源流域。早起きの源流有志は、最終整備の進む杉谷戸展望広場脇から、七国山かなたに清々と上る初日を遥拝。寝坊で遅刻のメンバーも、同じく杉谷戸展望広場から、元気に上りきった初日をしっかり確認しております。源流の安らかな元旦、まことによるこばしく、新年、あけましておめでとうございます。

バクの形の鶴見川流域・鼻先で活動する私たち源流ネットは、今年、3つの大きな課題に対応します。

一つは、杉谷戸・はなみずきの丘の公園群の正式オープン。展望広場、多自然調整池、せせらぎを軸とした緑の広場と斜面緑地。春にはすべてが整備され、町田市管理の公園として開園されます。鶴見川流域ネットワーキングの創設された1991年、<鶴見川源流シンポジウム>における源流ネットの提案が大きく生かされ、いま現実となります。1号公園のせせらぎは旧鶴見川本流の流れそのもの。源流の泉から流下する本流の一部が誘導されて、見事な流れが復活し、源流の魚たちもそろって回復されてゆくことでしょう。回復は、1994年冬、杉谷戸の魚たちの緊急避難を担当した私たちの仕事です。

二つ目は源流保水の森のお世話の本格的な展開です。2年にわたる身を削る谷戸山の回復作業がこの春、大きな成果をみせるはず。回復された雑木林の林床で、谷戸の水辺で、私たちは源流谷戸山の、生きものたちの仰天の賑わいに出会うでしょう。

そのお世話が、さらに新しい仕事になってゆきます。もちろんのこと、小山田緑地、本流、恩田川、岡上、めだか池のお世話の仕事も、進みます。それら山盛りの仕事を支えるたくさんの志あるボランティア、スタッフの確保が、三番目の大課題。この課題に対応するため、市民大学卒業生に呼びかけて、源流ネットHATS同窓会（G-HATS）を創設します。同窓生たちの大きな支援、期待しましょう。

【岸 由二】